

SANUPS P61B 552SJ (5.5kw)

施工説明書 補足資料 設置・配線編

SANYO DENKI

P61B552SJの施工は、本書のほかに製品同梱の「施工説明書」で詳細を説明しています。

梱包状態



型番：P61B552SJ

梱包質量：約38kg

梱包サイズ：
490×D850×H405(mm)

梱包状態



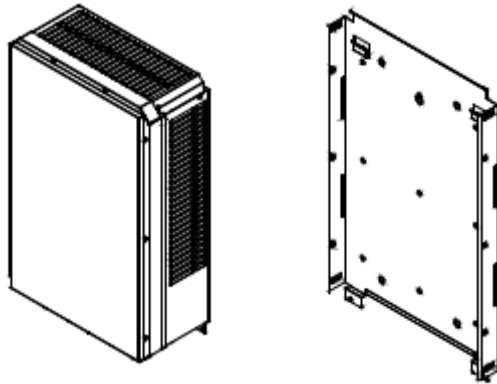
内容物がすべて揃っている
かご確認ください。

参照：「施工説明書」P.7

Note

同梱品に不足があった場合は、ご購入先へご連絡ください。

包装内容



パワコン本体
取付板



包装内容



アンテナ 1



取付板固定用ねじ
M5×60（スペア含む）10本

包装内容



圧着端子
M5-8mm²用 7個
(スペア1)



圧着端子用絶縁チューブ
8mm²用 8個

包装内容



絶縁付き圧着端子
M4-5.5mm²用 10個
(スペア2)

包装内容



圧着端子
M5-5.5mm²用 4個
(スペア1)



圧着端子用絶縁チューブ
5.5mm²用 3個

包装内容



正面カバー取付ねじ

M3×10 2個

(スペア)

正面カバー取付用ねじ用

ワッシャー (スペア) 10個



正面カバー取付用六角ねじ

M3×10 12個

(スペア2)

包装内容

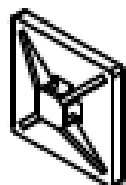


一括入力用接続ケーブル
2本

包装内容



結束バンド 2本
(スペア1)



結束バンド固定具

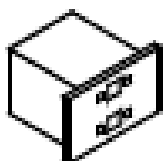


パワコン用固定ねじ
M4×10 2個

包装内容

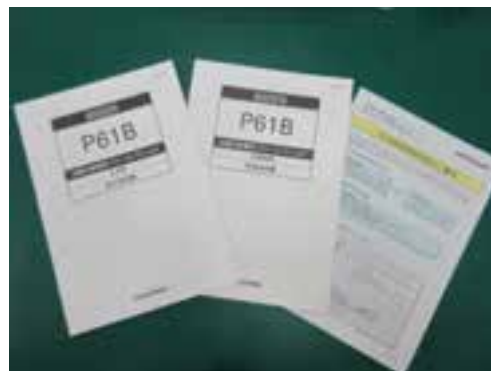
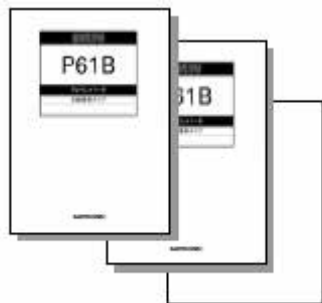


圧着端子
M4-8mm²
(スペア1)

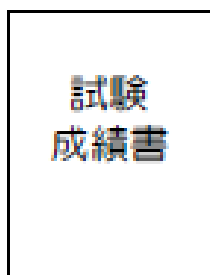


ジャンパーピン
LCDタイプ I 用マスター機
設定用

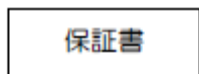
包装内容



取扱説明書
施工説明書
10年延長保証のご案内



試験成績書



保証書

取付板の設置



パワコンと取付板を設置します。

- ・ 取付板両サイドの保護カバーとパワコン底面についてるシールは,この段階で外さないでください。
- ・ パワコンの設置スペースを確保してください。
参照：「施工説明書」P.14～16

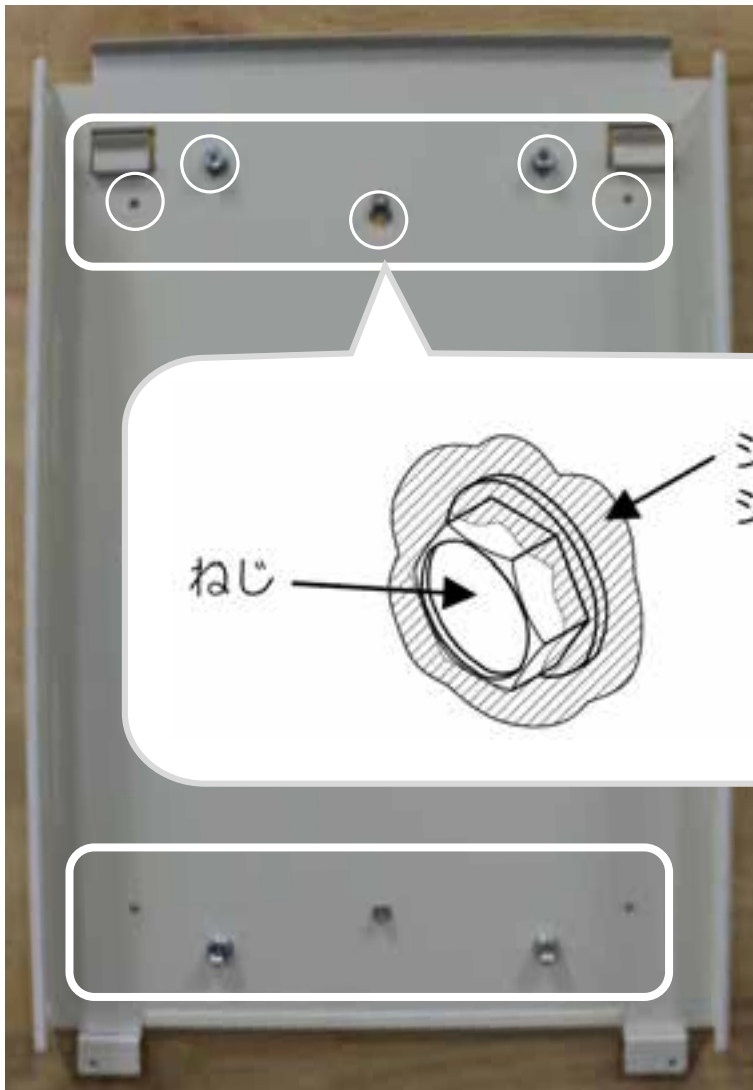
取付板の設置



左図で示した,上下各枠内5穴の内,3ヶ所以上に設置場所の壁に適した固定用の穴をあけます。同梱のねじで固定してください。

- ・ $\phi 6$ の取付穴を使用する場合は、同梱の「M5×60（取付板固定用ねじ）」を使用します。
参照：「施工説明書」P.16
- ・ 取付板と壁とのすき間に雨水など浸入のおそれがある場合は、シリコン系シーリング材を塗布するなど防水処理をしてください。
参照：「施工説明書」P.17

取付板の設置



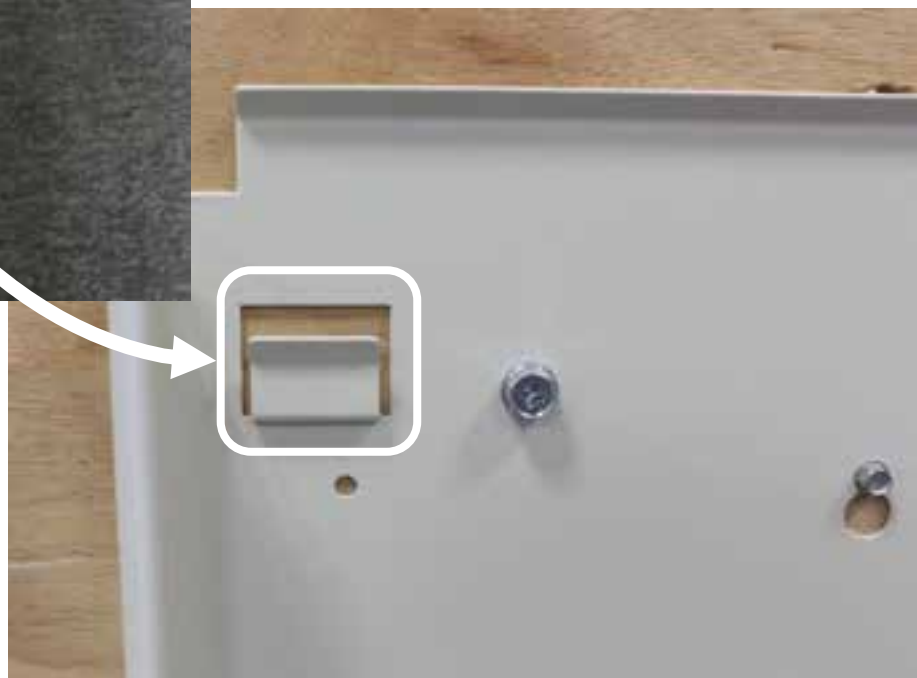
ねじで固定した所にシリコン系シーリング材を塗布し、さび防止のための処理をします。

ねじで固定したすべての所にシリコン系シーリング材を塗布します。ねじと板金の接触部を覆うように塗布してください。

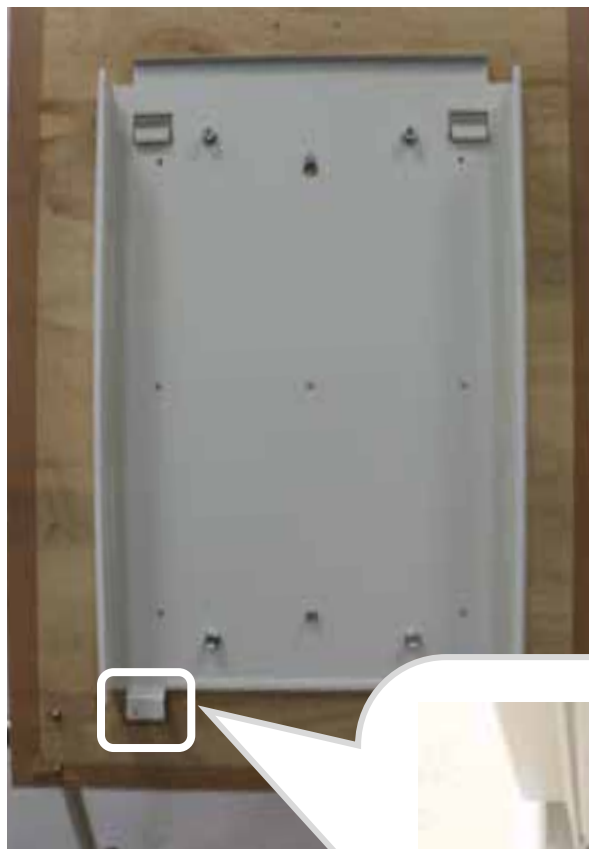
パワコンの設置



パワコン背面のツメを取付
板のフックに掛けます。



パワコンの設置



ねじ固定

取付板下部の2ヶ所とパワコンをねじで固定します。

- ・ 取付ねじは, [M4×10 (パワコン固定ねじ)] をお使いください。
- ・ 左図は固定部分を見やすくするため,パワコンを外した状態です。

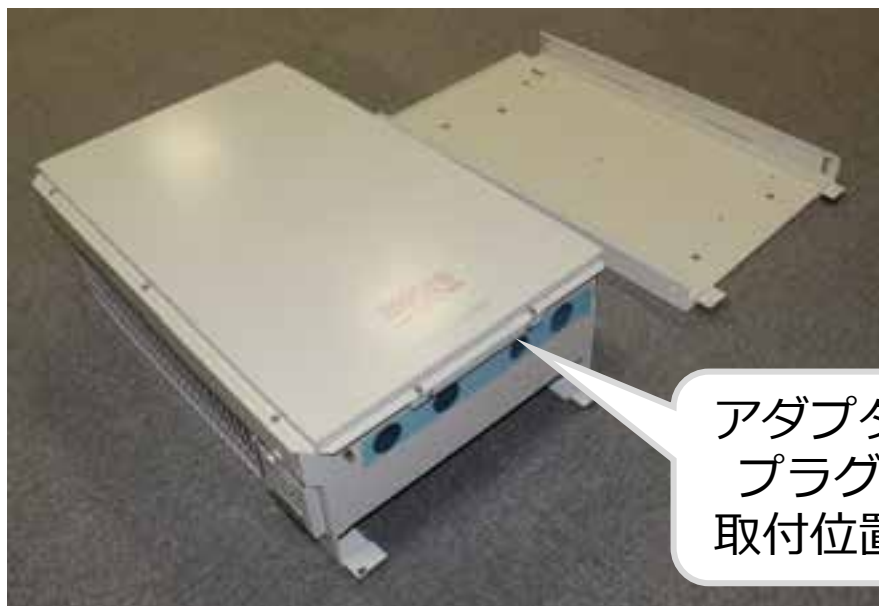
パワコンの設置



取付板左右の保護カバーを外します。

- ・ 外したカバーはパワコンの交換時などに,使用する場合がありますため,お客さまに保管をお願いしてください。
- ・ 左図は保護カバーを見やすくするため,パワコンを外した状態です。

配線準備



アダプタ
プラグ
取付位置

パソコン専用ブレーカ・使用電線・電線管接続穴用のアダプタ・プラグ・電線管等を用意してください。

参照：「施工説明書」P.19～20

左図のアダプタとプラグは、推奨品（三桂製作所製）です。
参照：「施工説明書」P.20



アダプタ

プラグ

配線準備



パソコン正面の10ヶ所のねじを外します。

正面カバーを取り外します。
パソコン下部の保護テープをはがします。

Note

〔M3×10（正面カバー固定用プラスチックねじ）〕について

- ・ 錆対策のためステンレス製です。取り外しの際、ねじの落下にご注意ください。
- ・ スペアねじ（2個）を同梱しています。
- ・ 同梱の〔M3×10（六角ねじ）〕を代わりに使用できます。

配線準備



絶縁カバーの下部を上側に
反転させます。

2つの直流スイッチがOFFであ
ることを確認してください。

配線準備



プラグ

配線用のアダプタを取付ます。
使用しない電線管接続穴には
プラグをつけてください。

- ・ アダプタ・プラグ・電線管などは取付ける部材に応じて、配線しやすい段階で取付けてください。
- ・ 配線後、穴埋めに使用するパテをご用意下さい。

配線作業



各端子台カバーは、手前に
引っ張り、外してください。

Note

端子台カバーの外し方は、直流入力
側・連系出力側共に同様です。

出力配線作業



自立出力端子・連系出力端子を配線してください。

参照：「施工説明書」P.23～34

- ・ 締付トルクはゆるみがないようご確認ください。
参照：「施工説明書」P.23～24
- ・ アースはD種接地です。
太陽電池ストリングスの開放電圧が300Vを超える場合は、C種接地としてください。

入力配線作業

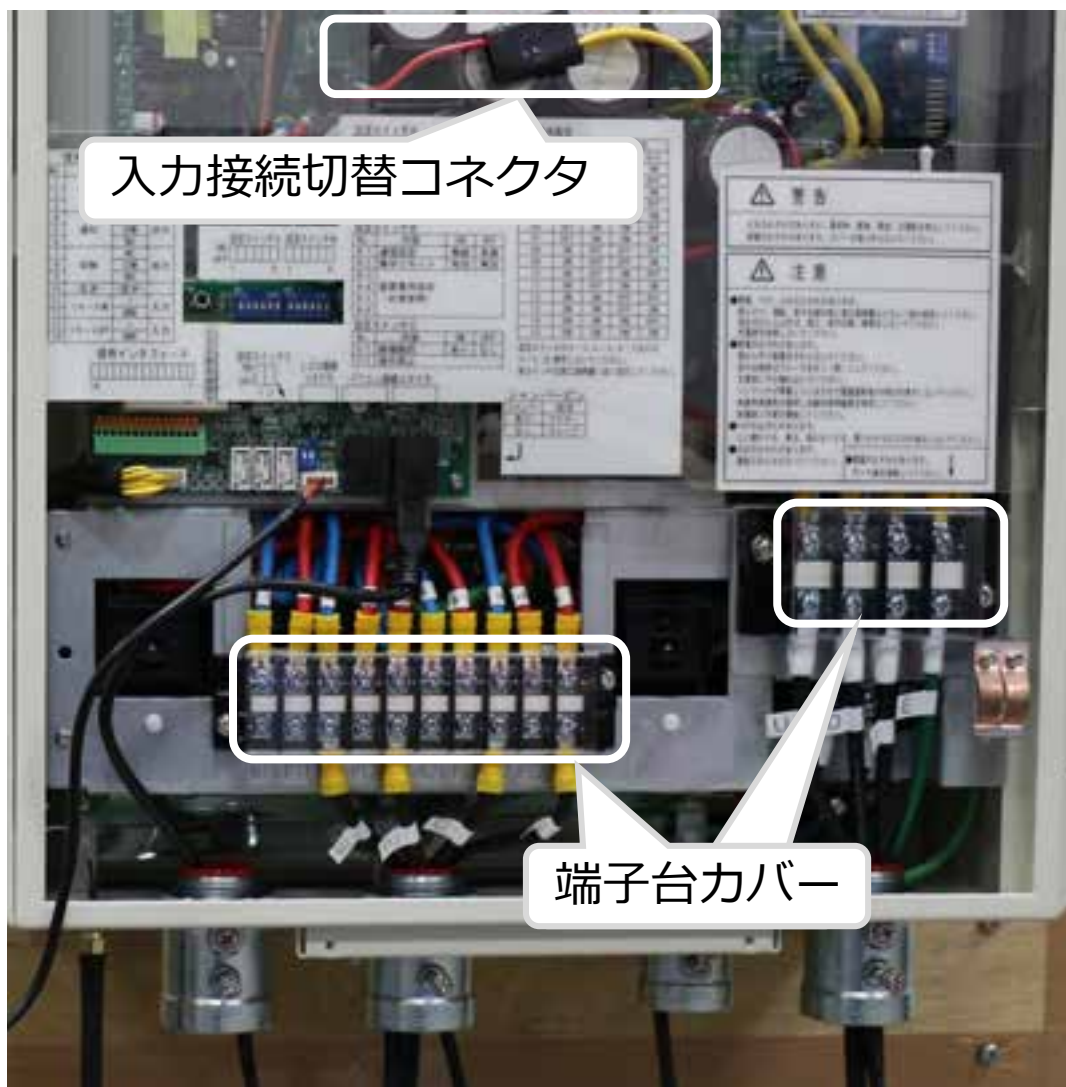


直流入力端子を配線してください。

参照：「施工説明書」P.25～32

- ・ 締付トルクはゆるみがないようご確認ください。
- ・ 直流入力端子番号は,太陽電池システム設計によって変わります。左図は2系統・個別入力の場合です。

配線作業



入出力の配線後,端子台力バーを取付けてください。

- ・一括入力の場合
配線された場合は,入力接続切替コネクタを接続してください。
- ・個別入力の場合
切替コネクタは接続しません。

Note

左図は出荷時の状態です。コネクタはテープで仮固定されており,接続されていません。

配線作業



入力接続切替コネクタ

直流入力が一括入力の場合は,固定用のテープを外します。
カチッと音がするまで,コネクタを差込みます。

Note

左図は,直流入力が一括入力の状態です。コネクタは接続されています。

配線作業



アンテナを取付けてください。

指定の締付トルクで締め付けてください。

参照：「施工説明書」P.33

Note

LCDパネルを有線運用される場合でも、コネクタ部分保護のため必ず取付けてください。

絶縁抵抗試験



太陽電池の絶縁抵抗値を測定してください。

参照「施工説明書」P.34

以下を確認してください。

- ・ パワコンの2つの直流スイッチがOFFであること。
- ・ 系統連携側のパワコン専用ブレーカがOFFであること。

Note

測定作業は,JPEA（一般社団法人太陽光発電協会）のガイドライン JEM TR228に準じて実施してください。

以上でパソコン本体の施工は終了です。

続いて,お使いになるLCDパネルのタイプⅠ～Ⅲの
取扱説明書をご参照頂き初期設定を行ってください。

LCDパネルをご使用にならない場合は,
試運転作業を行ってください。

山洋電気株式会社

本社 〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1 <http://www.sanyodenki.co.jp>
製品に関するお問い合わせ 電話 (03) 5927 1039
受付時間 9:00～17:00 (土,日,祝祭日,当社休日を除く) e-mail: cs@sanyodenki.co.jp

記載された会社名と商品名は,それぞれ各社の商号,商標または登録商標です。

※記載の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

'15.1 (1版)

© SANYO DENKI CO.,LTD. All Rights Reserved.